報道関係者各位

2026 年 11 月 11 日
株式会社ベスプラ

# ベスプラが第 14 回プラチナ大賞で『大賞』を受賞

## ～地域課題の解決に向けた先進的な取り組みとして評価～

株式会社ベスプラ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：遠山陽介）は、2026 年 11 月 5 日、第 14 回プラチナ大賞において「大賞」を受賞しました。受賞した取り組みは「脳にいいアプリ×健康ポイントによる健康長寿と地域経済循環のまちづくり」です。歩行や食事記録、脳トレなどの日々の健康づくりをポイントで応援し、地域の店舗利用や社会参加へつなぐ仕組みを、自治体とともに展開しています。主催者が 2026 年 11 月 5 日に公表した最終審査結果では、全国 52 件の応募から、当社が「大賞」に選ばれました。[1]




写真：第 14 回プラチナ大賞集合写真［一般社団法人プラチナ構想ネットワーク提供］

## 【大賞受賞で評価された 3 つのポイント】

今回の受賞では、自治体との連携による取り組みについて、以下の 3 つの点が講評されました。

**1 官民連携による持続可能な健康施策とポイント施策**

自治体と民間企業の連携により、健康づくりの施策とその参加を後押しするポイント施策を、継続して運営できる仕組みにしている点が評価されました。

**2 幅広い住民の参加を促す工夫と、行政 DX・EBPM・地域消費の組み合わせ**

健康への関心が薄い層にも参加を促し、行政 DX、EBPM（客観的なデータなどの根拠に基づく政策立案）、地域での消費を組み合わせて、住民の健康づくりと地域経済の活性化を結びつけている点が評価されました。

**3 幅広い自治体への普及と導入実績**

幅広い自治体への普及・導入実績を持ち、健康づくりとポイントを組み合わせた仕組みを各地に広げている点が評価されました。

## ■ プラチナ大賞とは：社会課題の解決モデルを全国へ広げる表彰

プラチナ大賞は、社会や地域の課題解決に向けた自治体や企業などの先進的な取り組みを表彰する制度です。これらを「プラチナ社会」のモデルとして広く発信し、その実現に向けたビジョンや具体的な行動の理解・普及を図ることを目的に、2013 年から毎年 1 回開催されています。審査は、社会的ニーズへの対応、創造性・革新性、実効性、協働の実現性、持続可能性、展開可能性の 6 つの観点から総合的に行われます。[6]

第 14 回は総務省・経済産業省、全国知事会、時事通信社などが後援。学識者や日本経済新聞社・時事通信社などの有識者が審査に参加する、官民の幅広い関係者が関わる表彰制度です。[7]

公式発表を読む：第 14 回プラチナ大賞 最終審査結果 PDF

## ■ 【脳にいいアプリ×健康ポイント】歩いて貯めたポイントを地域のお店で使う

健康づくりを毎日の習慣にするには、取り組みたくなるきっかけが必要です。「脳にいいアプリ×健康ポイント」は、歩数や食事、脳トレの記録に、ポイントが貯まる楽しみを組み合わせています。八王子市の「てくポ」では、健康づくりや対象のボランティア・地域活動への参加で貯めたポイントを、市内の飲食店や小売店などで使えます。健康のための行動が、街に出かけ、お店を利用するきっかけになる仕組みです。[2]

【ベスプラ HP】https://bspr.co.jp/municipal.html

## ■ 【てくポ】八王子市では約 200 人から約 1 万 7,000 人へ

2021 年 10 月に始まった「てくポ」は、60 歳以上の八王子市民を対象としています。利用者は事業開始当初の約 200 人から約 1 万 7,000 人へと広がりました。市による広報やサポート窓口の設置など、地域で利用を支える運用も重ねてきました。[2・3]

| 八王子市てくポの実績 | 公表値 | 時点 |
|---|---|---|
| 利用者数 | 約 1 万 7,000 人 | 2026 年 10 月 29 日記事掲載時 |
| 累計付与ポイント | 約 2,738 万円相当 | 2026 年 4 月末 |

【八王子市 HP】https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/welfare/001/p029443.html

## ■ 【ひめさんポ】姫路市ではバスに乗ることもポイントに

兵庫県姫路市の「ひめさんポ」では、65 歳以上の市民を対象に、指定のコミュニティバス等に乗車して車内の QR コードを読み取るとポイントを付与しています。地域の交通を使うことも参加の入口にするなど、自治体の実情に合わせて仕組みを設計しています。[5]

対象年齢・活動・ポイントの利用先は自治体ごとに異なります。当社はアプリの提供と運用支援を通じ、日々の健康づくりと地域活動を結び付けています。

【姫路市 HP】https://www.city.himeji.lg.jp/kurashi/0000028350.html

## ■ 自治体と一緒に作っていく『地域とともに続けられる健康づくりへ』

当社は、健康づくりが本人の楽しみとなり、地域の人やお店との接点も生まれる社会を目指しています。今後は自治体ごとの利用支援や効果の検証に加え、地域企業との連携や広告収入の活用によるポイント原資の確保にも取り組み、事業を長く続けられる仕組みを育てていきます。[3]

## ■ 受賞概要

賞名：第 14 回プラチナ大賞「大賞」
受賞団体：株式会社ベスプラ
受賞取組：脳にいいアプリ×健康ポイントによる健康長寿と地域経済循環のまちづくり
主催：一般社団法人プラチナ構想ネットワーク、プラチナ大賞運営委員会
受賞日：2026 年 11 月 5 日

## ■ 報道関係者の皆さまへ

代表・遠山陽介へのインタビュー、アプリの実演、自治体との運用に関する取材のご相談を受け付けています。住民が歩数やポイントを確認する場面、地域のお店でポイントを使う場面などの現地取材は、本人・店舗・自治体等の意向を確認して調整します。

## ■ 会社概要と本件に関するお問い合わせ

株式会社ベスプラ　代表取締役：遠山 陽介
所在地：東京都渋谷区神宮前 5 丁目 18-10 エクサスペース 3C
設立：2012 年 4 月 2 日　事業：脳にいいアプリ等のデジタルヘルスケアサービス
取材窓口：info@bspr.co.jp　公式サイト：https://bspr.co.jp/

## ■ 参考資料

[1] 主催者公式発表　第 14 回プラチナ大賞 最終審査結果 PDF（2026 年 11 月 5 日）
[2] 八王子市　てくポ制度概要（2026 年 10 月 21 日更新）
[3] 関東経済産業局　ベスプラと八王子市の官民連携事例（2026 年 10 月 29 日）
[4] ベスプラ　てくポの実績公表（2026 年 6 月 1 日）
[5] 姫路市　コミュニティバスとひめさんポ（2026 年 6 月 24 日更新）
[6] プラチナ構想ネットワーク　賞の目的と審査基準
[7] 主催者公式案内チラシ（後援・審査委員）